

## 令和6年度 第2回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	令和6年8月2日(金) 13時30分から14時15分まで																											
開催場所	大垣市民病院2病棟1階 会議室																											
議 題	定例報告及び紹介率向上への取組みについて																											
出席委員 (敬称略)	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">委員長</td> <td style="width: 40%;">大垣市医師会長</td> <td style="width: 30%;">沼口 諭</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>大垣歯科医師会会長</td> <td>馬淵 直樹</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>大垣市医師会副会長</td> <td>竹中 清之</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>大垣市医師会理事</td> <td>森 俊治</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>揖斐郡医師会会長</td> <td>野田 宜輝</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>大垣歯科医師会副会長</td> <td>北村 浩之</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>大垣市女性連合会会長</td> <td>竹中 昌子</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>岐阜協立大学看護学部教授</td> <td>神谷 真有美</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>西濃保健所長</td> <td>河野 芳功</td> </tr> </table>	委員長	大垣市医師会長	沼口 諭	副委員長	大垣歯科医師会会長	馬淵 直樹	委員	大垣市医師会副会長	竹中 清之	委員	大垣市医師会理事	森 俊治	委員	揖斐郡医師会会長	野田 宜輝	委員	大垣歯科医師会副会長	北村 浩之	委員	大垣市女性連合会会長	竹中 昌子	委員	岐阜協立大学看護学部教授	神谷 真有美	委員	西濃保健所長	河野 芳功
委員長	大垣市医師会長	沼口 諭																										
副委員長	大垣歯科医師会会長	馬淵 直樹																										
委員	大垣市医師会副会長	竹中 清之																										
委員	大垣市医師会理事	森 俊治																										
委員	揖斐郡医師会会長	野田 宜輝																										
委員	大垣歯科医師会副会長	北村 浩之																										
委員	大垣市女性連合会会長	竹中 昌子																										
委員	岐阜協立大学看護学部教授	神谷 真有美																										
委員	西濃保健所長	河野 芳功																										
公開区分	公開																											
傍聴人	なし																											
概 要	<p><b>1. 報告事項</b></p> <p><b>(1) 定例報告事項</b></p> <p>1) よろず相談・地域連携課から、<u>①紹介率・逆紹介率</u>、<u>②地域連携を介した診察・検査件数</u>、<u>③開放型病床利用状況</u>、<u>④救急統計</u>、<u>⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況</u>、<u>⑥地域連携クリニカルパス登録状況</u>、<u>⑦OMNet 利用状況</u>、<u>⑧地域の医療機関との連携相談実績</u>について報告した。</p> <p>① 紹介率…6年4月～6年6月:72.9% 逆紹介率…6年4月～6年6月:146.2%</p> <p>② 地域連携予約診察件数…6年4月～6年6月計:3,020件 地域連携予約検査件数…6年4月～6年6月計:213件</p> <p>③ 開放型病床登録医数…6年6月末:163人(医科134人、歯科29人) 開放型病床利用率…6年4月～6年6月:10.9% 緊急緩和ケア病床利用率…6年4月～6年6月:0.0%</p> <p>④ 救急受診患者数…6年4月～6年6月計:8,500人(月平均2,833人) 救急車利用件数…6年4月～6年6月計:2,452件(月平均817件) 救急入院患者数…6年4月～6年6月計:868件(月平均289件)</p> <p>⑤ 地域医療従事者に対する研修…6年4月～6年6月開催数:2回、院外受講者17人 * 病診連携カンファレンス、西濃がん早期診断研修会等、診療報酬に関する委員会等 市民対象講演会等…6年4月～6年6月開催数:1回、院外受講者27人</p> <p>⑥ 地域連携クリニカルパス登録状況…6年4月～6年6月登録総数185件</p>																											

6年6月末時点でのパス開始からの登録総数:12,978件

⑦OMNet 利用状況…6年6月末時点の利用登録医療機関:130機関  
診療情報閲覧に同意した患者総数:43,586人

⑧地域の医療機関との連携相談実績…6年4月～6年6月計:3,233件  
医療相談実績…6年4月～6年6月計:465件

## 2) 上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。

(委員)

救急ですが、救急の受診者自体も減っていますし、救急車を利用される方も減っていますと書いてありますが、現状減っている理由は何が考えられますか。

(事務局)

数としては減っていますが、様子を見てみないと分かりません。

(委員)

救急医療の提供で、救急受診患者数が時間内は100件以上増えていて、時間外が300件以上減っています。医師の働き方改革が時間外の診療というのに影響を及ぼしていますか。

(事務局)

特に患者さんの受け入れに制限というものは一切引き続きしていませんので、働き方改革が直接この数の変化に影響しているとは考えにくいです。

(委員)

地域連携を介した診察予約件数で、大垣市も透析が増えたりして糖尿病・腎臓内科が結構大事だと思うのですが、実際に地域連携を介した診察というのは、具体的にどのような内容ですか。

(事務局)

実際にはCKDの基準で、これくらいの方は専門医に紹介しましょうというガイドラインがあります。それに則って地域のかかりつけの先生方は紹介しても患者さんが嫌がってというケースも多く、実際には末期腎不全で透析導入の少し前に紹介していただくという患者さんもたくさんあります。

透析の患者さんを抑制していこうという事は国をあげての対策だと認識していますので、その辺りを地域の先生方と連携しています。

### (2)紹介率向上への取り組みについて

1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。

①令和6年度4月から6月までの患者さんからの電話予約実績は192件。地域別では大垣市の先生が約9割を占めている。診療科別では歯科口腔外科が約4割を占めており小児科、皮膚科の順となっている。

②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、令和6年度4月から6月まで17件。

診療科別としては、循環器内科が 35.3%、神経内科、血液内科それぞれ 17.6% となっている。

2) 委員から、上記の報告について意見・質問はなし。

## 2. その他

(事務局)

前のご質問のご回答をさせていただきます。紹介した患者さんが元の医院に帰った率が出ますかのご質問ですが、検討いたしました。1件1件手拾で確認しなければならぬという膨大な作業となるため、率を出すのは困難であるとの結論に至りました。

また、腎炎の疑いを当院の小児科の先生が診ますかとの件ですが、確認しましたところ、「小児科全般で診ていて、担当を決めてやっている訳ではなく、必要であれば大学病院へ紹介しています」との事でした。

(委員)

難しいというのが良く分かりました。

小児科の腎炎については、一旦は大垣市民病院に紹介させていただければいいという事が分かりました。ありがとうございました。

(事務局)

OMN e t、いろいろ不便な点があると思うのですが、何が一番どこが良くなったらいのかという事があれば教えていただきたいです。

病院の予約の仕方とか、いろいろ問題点があると思うのですが、何が一番気になるか教えていただきたいです。

(委員)

1台専用のパソコンをつなぐのは難しいです。しばらく使っていないとバージョンアップされてうまくリカバリーできないです。パソコンの機種変更をすると、もう一度入れ直してもらわないといけなくなります。

予約はFAXの方がやりやすいです。予約については紙をずっと残していただきたいです。

(委員)

この辺りでは結核にかかっている方はいらっしゃいますか。

(事務局)

市民病院には結核病棟があります。定期的には入院はありますので、決して結核の患者さんがいなくなった訳ではありません。

(委員)

結核は、西濃圏域ではだいたい県の値より少し低めのところで推移をしているという状況です。

次回開催

令和6年度第3回委員会は11月26日に開催予定とする。